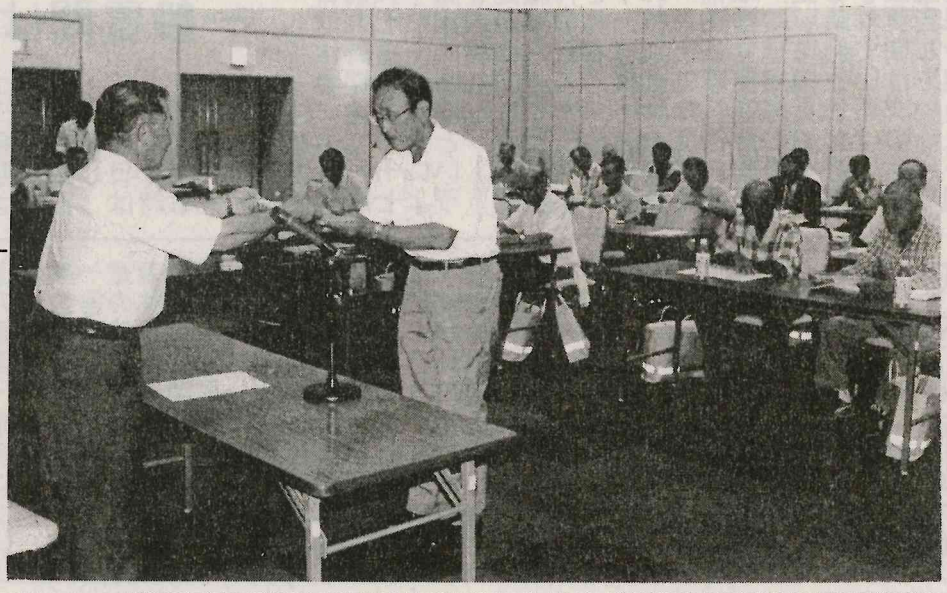
2010年（平成22年） 9月 8日（水曜日） 夕刊 矢祭
（NO，10608） 友引（旧 8月 1日）
東舘字桃木町42 夕刊矢祭新聞社 昭和57年12月6日第3種郵便物認可
発行人 菊池正典 ☎46-3508 FAX46-3185 （日曜、祭日、第二・四土曜休刊） 月額1，000円

十月一日現在で国勢調査
町内四十七地区 調査員・指導員三十六人

実施要領、日程等説明会開く



五年に一度の国勢調査が今年十月一日現在で実施されるにあたり、矢祭町の調査員は指導員五人を含め三十六人を構成し、全体で四十七地区を四人で調査を担当する。

調査員は、複数地区にわたり担当する地区もある。

矢祭町で開いた説明会は七日午後二時からユーパルで行った。

令和二年国勢調査の実施要領と日程等を説明した。

説明会は初めに調査員を代表して星紀久男氏が「各種統計に伝達し、調査員の動態を把握するため、調査員を説明した。

古張町長は「大国民なので、最も重要な事業である国勢調査の実施に当たり、町民の皆様のご協力をお願いしたい」と挨拶した。

自立総務課から配布された調査員用品の確認、国勢調査DVDによる調査員の役割、調査の方法、調査票の記入の仕方などについて説明があった。

国勢調査による人口は地方交付税に反映されます。熱中症にかかられないよう注意して任務を遂行して下さい」と挨拶した。

谷▼程の項調査目で実施が要領や日は」

男▼黒な助ど・説明房が行わ星紀れた久館

鈴▼栅木鈴木▼小昌國正信星早紀行▼久▼内・小男星紀▼寄沢駒野▼橋沢館

和▼田屋▼深松造正信星早紀行▼久▼内・小男星紀▼寄沢駒野▼橋沢館

崎▼小屋▼谷正▼▼行▼久▼内・小男星紀▼寄沢駒野▼橋沢館

頭▼木由▼雄地中▼上川内▼男・一▼下上薫▼一小宝・向佐▼▼桃沢▼落合▼中守小山

屋▼同正和二▼一野本▼下川下▼山▼同関関▼追▼田坂諸内川佐石木昭ム金合淳山央雄松

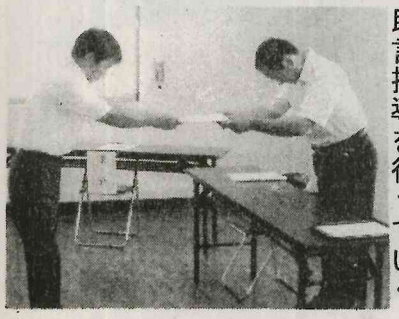
・山▼▼良▼ユ谷雄重多斉▼上茗上下金二河河大分高川・花▼利川田町▼・沢淳利野団▼一深

▼▼輔寺▼無▼地▼美義藤古▼荷茗・沢▼内内烘・野（押▼豊見利・・舘せ昭利▼井地金郎谷

▼島同人タ下石▼男克市古▼荷福光豊三▼▼馬谷（南舘豊田▼見小石本せ▼▼ユ～▼沢▼好

指良▼調ウ▼原真▼夫久市古▼住一田▼石豊渡地）▼田隆清▼田田▼らユ唐▼牛生▼戸美

導夫鈴査ン鈴▼木関▼雄久市古▼郎耕石井田戸▼▼片隆三水上川▼田ぎ▼目ハ小田大塚▼



学校教育推進員十九人委嘱

学力向上と人間性・社会性の育成充実のため

学校教育推進員は、町内小中学校長から推薦により教育委員会において選出した教科に優れた教師十九人の推進員に委嘱状を交付し、子どもの持てる力を発揮させるための協力して下さい」と挨拶した。

第一回会議では二階堂章信町教育長が町内小・中学校教職員の中から「特色ある教員」として選出された十九人の推進員に委嘱状を交付した。

とは思うが、それぞれの能力を学校の垣根を越えて、広く町内の小中学校に活かすことができるもので、要請訪問等で学校を行っていく。

「負担になることも」

「年九月一日より施行の矢祭町学校教育推進員設置要綱に基づき設置した。

「生徒の学力向上と豊かな人間性・社会性の育成をより充実させることを目的とし、本

指導力や各教科に

助言があればしていただく。

お墓のこと
何でも相談下さい。
石材全般お見積致します。
角田石材店
代表 金沢利広
白河市表郷金山字下ノ内16
TEL・FAX 0248-32-3478

委嘱された推進員は次の通り。

▼国語▼佐藤美江子（石井小教頭）▼近藤さ（下関河内小教諭）▼つ子（下関河内小教諭）▼社会▼渡邊健順（内川小教諭）▼算数・数学▼萩原弘（東南教育事務所長）▼理科▼藁谷忠（矢祭中教諭）▼酒井康雄（内川小教頭）▼音楽▼瀬川由美子（矢祭中教諭）▼図工・美術▼戸井田信也（下関河内小教諭）▼家庭▼池保敬子（石井小体育教諭）▼道徳▼猪狩照良（矢祭中教諭）▼総合▼牧内学（館小教諭）▼小松信哉（下関数河内小教諭）▼英語▼佐藤美江子（近藤さ

十四日から定例町議会
議会運営委会　会期十七日まで四日間

21年度各種会計決算など議案
一般質問は16日午前9時から

矢祭町議会九月定例会が、十四日から開かれる。

十四日は午前九時から開会、議案説明、一般質問（七議員）、十五日は休会、十六日は午前九時から開会、十七日は午前十時から開会というように、今定例会には町当局から議案二十二件、報告一件の計二十三件が提出される